

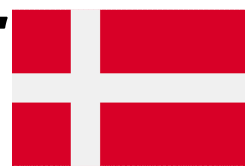
教育のぼりべつ

令和5年
10月5日
No.39

発行：登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100 〒059-0014 登別市富士町7丁目33番地



登別市デンマーク友好都市 中学生派遣交流事業



8月7日（月）から15日（火）までの9日間にわたり、市内2校の中学生と明日中等教育学校の生徒9名が、登別市と友好都市協定を締結しているデンマークのファボーミッドフェン市との交流事業に参加しました。

生徒たちは、「アンデルセン博物館」や登別マリパークニクスのお城のモデルとなった「イーエスコー城」、「レゴランド」の見学や学校・施設の訪問など、多くの貴重な体験をすることができました。生徒たちに感想を聞くと、「初めての海外でいろいろな文化に触れられたよい機会であった。この経験を将来に役立てたい。英語をもっと勉強して、またデンマークに行きたい。」と話していました。



イーエスコー城



レゴランド



交流会の様子



アンデルセンが建てた学校



ホストファミリーと記念写真

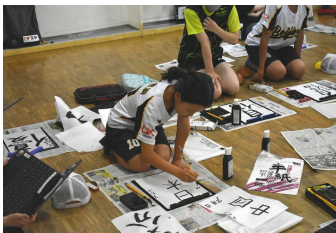


コペンハーゲン市

「北京少年野球クラブの児童」 幌別小学校訪問

中国北京市の「one team」野球ソフトクラブの児童14名が、異文化理解と交流促進を図ることを目的に北海道を訪問し、7月14日（金）に幌別小学校で交流会が開催されました。

まず、幌別小3年生の児童による中国語で歓迎の挨拶と、よさこい踊りを披露しました。続いて北京の児童からは、踊りや楽器演奏等が披露されました。給食は、1年生・2年生・5年生に分散して幌小の児童と一緒に食べました。給食終了後には清掃活動（拭き掃除、机運び）にも参加。昼休み時には、ドッジボール等で仲良く遊びました。午後の授業では、6年生の書道と4年生の工作（折り紙）の両方の授業に参加し友好を深めました。



「記録に挑戦・体育大会」

7月14日（金）、登別中学校で校内体育大会が開催されました。3年生がリーダーとなり「赤・白」縦割り2チームで競い合いました。100M走の他、男子1500M走、女子800M走、ハンドボール投げ、全員リレー等、自己新記録を目標に1秒でも早く、1cmでも遠くに投げようと一生懸命各種目に取り組んでいました。



100M走



ハンドボール投げ

「いじめの避難訓練」全小学校で実施

市内全小学校で、いじめなどの悩みをひとりで抱え込まない方法を身に付ける授業「いじめの避難訓練」を実施しました。「いじめの避難訓練」は、北海道教育大学大学院の小沼豊准教授が、2019年から札幌市の一部の小中学校で実践しています。登別市では今年から、市内全小学校4年生を対象に授業を行い、授業では、子どもが2人一組で「悩みを相談する役A」「相談を受ける役B」に分かれてロールプレイを行いました。Aが「最近、みんなから無視されているような感じがして、、、。」Bは「一緒に誰かに相談にいかない？」などと台本にそってやりとりし、声に出して援助を求める体験をすることで、悩みがあるときのSOSの出し方を学びました。



2人一組で「悩み相談する役」と「相談される役」に分かれて演技（富岸小学校での授業）

いじめ撲滅「DBA集会」

7月16日（金）に幌別中学校で、DBA集会が開催されました。DBAとは、「Don't Bully Anybody」の略で「誰にもいじめをさせない」ということを意味しています。事前に全校生徒に実施したアンケートを元に、その結果や分析を報告したほか、生徒会役員がいじめを題材にした3つのロールプレイを行い、その後、全校生徒が縦割りで22グループ（6～7名）に分かれディスカッションで交流し、自分の考えを深めたりしていました。生徒たちは、積極的に参加し、全校生徒みんなが協力して、いじめゼロを目指していこうと決意しました。



ロールプレイの様子



ディスカッションの様子

市内全小学校で「世代間交流会」がスタートしました!

登別市教育委員会では、市内の全小学校において、登別市地域学校協働本部実行委員会が主催する「世代間交流事業」を実施しています。これは、地域ボランティアの皆さんの豊かな知識や経験を活かした「昔遊び」の体験による交流活動等を通して、子どもたちの豊かな人間性を育成することをねらいとしています。

幌別西小学校2年生を対象に開催した「世代間交流会」では、自分達の地域に住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんから、竹とんぼやお手玉、けん玉、だるま落としなどの「昔遊び」を教えていただき、楽しい一時を過ごしていました。どの子どもも、笑顔でいろいろな昔遊びに夢中になって取り組み、とても貴重な体験となりました。この後10月28日に登別小学校、11月7日に幌別東小学校で開催予定です。



竹とんぼを教えてもらう子どもたち



だるま落としに挑戦する子どもたち

元気に市民ラジオ体操会

7月29日(土) 鷺別小学校と青葉小学校のグラウンドを会場に、「市民ラジオ体操会」が登別市スポーツ推進委員会と教育委員会の共催で実施されました。

「市民ラジオ体操会」は、市民の体力向上・健康保持や規則正しい生活習慣の定着を目的としています。

早朝にもかかわらず、児童や保護者、関係者など、両会場合わせて約160名が集まり、6時半から「ラジオ体操会」を開始。スポーツ推進委員の手本を見ながら元気良く取り組んでいました。これを機に「早寝・早起き・朝ごはん運動」に進んで取り組み、規則正しい生活を心がける子どもたちが、一人でも多くなることが期待されます。

また、ラジオ体操会終了後には、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」の体験会が行われ、参加した子どもたちは、的を目標けて棒を投げ合う「モルック」の楽しさに触れていました。

